

平成29年度

商工業振興に関する要望書

苫小牧商工会議所

苫小牧市長 岩倉 博文 様

## 要 望 理 由

苫小牧市におかれましては、活力ある産業都市の構築と賑わいのある街づくり並びに健やかで安心・安全に暮らす街づくりのため日々諸事業を積極的にすすめられていることに衷心より感謝申し上げます。

さて、平成28年度の国内景気は、アベノミクスによるデフレからの脱却と経済再生に向けた政策が進む中、第一四半期の国内総生産は年率0.2%の小幅な伸びにとどまったものの穏やかな景気回復となっております。道内経済においては個人消費・公共工事の持ち直しの動きや観光入込客数の増勢維持など、持ち直し基調にあります。しかしながら、国際経済の動向や台風被害など道内経済を取り巻く環境を注視する必要もあり、先行きの不透明感は否めないものであると考えます。また、企業活動においては、課題は山積しており、慢性的な人手不足や電力料金問題などの影響は大きく、とりわけ中小企業者は依然厳しい経営環境に置かれております。

当市においては、一部業績改善が見られる企業があるものの多くの地元中小企業が、景気回復基調を実感出来る状況ではありません。当商工会議所といたしましては、地域総合経済団体として「頼られる商工会議所」を目指し、地域経済活性化事業、中小・小規模企業支援事業を積極的に展開し、商工業の発展に寄与し、広く社会福祉の増進に資するという商工会議所本来の目的を実践するために努力しているところでございます。

市民が安心して暮らせる生活環境の形成のためには、地域経済の活性化並びにそれを支える企業経営の安定が必要不可欠であり、幅広い分野での対策が求められます。街の将来像を見据え、行政と経済界が相互の立場や役割を認識し、理解と協力のもとに行動することが最も重要なことと考えます。

つきましては、平成29年度苫小牧市施政方針及び予算編成にあたり、当所会員の総意として、5つのテーマを柱に次の通り要望いたします。要望項目の早期実現に向け、貴職の特段なるご高配を賜りたくお願い申し上げます。

平成28年10月31日

苫小牧商工会議所

会頭 宮本 知治

# 平成29年度商工業振興に関する要望書

## 要 望 項 目

I 地域企業活動の活性化並びに中小企業対策の推進

II まちづくり並びに都市機能強化の推進

III 地域振興施策の推進

IV 苫小牧港の整備促進と機能強化の推進

V 観光振興施策の強化

## I 地域企業活動の活性化並びに中小企業対策の推進

国内景気はゆるやかな回復基調にありますが、地方ではまだそれを実感するに至ってはおりません。

地域経済を支える中小企業にとっては未だ厳しい経営環境が続いております。とりわけ、人材不足、電気料金の高騰は企業活動を阻害する要因となっております。エネルギー、雇用問題は現状への取り組みを早急に行うと同時に将来を見据えた対策が必要不可欠であり、加えて地元企業の安定経営を支援することにより地域経済の好循環を促すものと考えます。

地域経済の持続的な成長・事業拡大を目指すために以下の事項を要望致します。

1. 低廉かつ安定的な電力供給確保のため泊発電所の安全性を確保した  
上での早期再稼働の実現
2. 企業活動の基盤をなす労働力の慢性的な人手不足に対する人材育成・  
確保等の雇用対策推進
3. エネルギー効率の高さや安全性・環境への負荷低減に貢献する次世代  
エネルギーである水素エネルギーの利活用の促進
4. 地域の景気刺激策の推進
5. 地元中小企業の安定経営を支える諸事業の推進
6. 持続可能な地域社会形成の推進

## Ⅱ まちづくり並びに都市機能強化の推進

近年、まちの中核を担う中心部は商業環境、住環境の急激な変化により、賑わいを喪失し、市民が集い行き交う場所としてのイメージが失われつつあります。

しかしながら、中心市街地は交通アクセスの拠点であり、市庁舎をはじめ行政機能をつかさどる機関が集積する地域であります。

東西に長い本市においては、中心部と東西地区のバランスのとれた都市体系を形成し、企業活動並びに市民生活において利便性と安全性の高い環境整備が必要であり、その推進のために以下の事項を要望致します。

1. 苦小牧の顔であるJR苦小牧駅南口周辺地域の早期再整備の推進
2. まちづくりにおける東西バランスのとれた有効的な諸施策の推進
3. 苦小牧中央インターチェンジのフル規格での実現と緑跨線橋の早期整備
4. 市民生活の安全と経済活動の利便性向上に向けた道路整備等の推進
5. 地域の持続的発展と活性化のための近隣都市との地域連携の推進

### Ⅲ 地域振興施策の推進

苫小牧市は物流において港湾、空港のダブルポート機能を有し、道内外との交通アクセスに優れております。

同時に、日本有数の広大な開発用地を有しており、現在、ものづくり産業を中心とした企業集積がなされており、今後も多様な産業群の立地が期待できます。

地域の優位性を生かして交流人口の増加、企業立地の促進を目指し、北海道経済を牽引する地域として苫小牧が発展するために以下の事項を要望致します。

#### 1. 経済活性化並びに観光振興につながる苫小牧版統合型リゾート（IR）

##### 構想の推進

#### 2. 新千歳空港の国際拠点空港化を促進するための整備促進並びに機能強化

#### 3. 日本有数の広大な開発用地と優れた交通アクセスを有する苫小牧東部地

##### 域の事業開発の推進

#### 4. 地場産業の振興、新たな産業の創出につながる企業誘致の推進

#### 5. 我が国のエネルギーミックス施策に沿った新エネルギー産業拠点形成の

##### 推進

#### 6. 北海道開発にかかる枠組みの堅持

## IV 苫小牧港の整備促進と機能強化の推進

苫小牧港は市の経済を支える重要な社会資本であり、国際拠点港湾として道内海上貨物の約5割を取り扱い、RORO船、コンテナ船、カーフェリーなどのユニットロード貨物に対応した施設整備が進められ、道内と本州を結ぶ物流の要として北海道経済を支えています。

しかしながら、開港から50年以上が経過した現在、西港区の老朽化問題が顕著化し、東港区では国際コンテナターミナル機能のより一層の充実が必要なことから以下の事項を要望致します。

1. 国際コンテナターミナル周辺を含めた基盤整備及び施設整備
2. 苫小牧港西港区の老朽化対策の推進
3. 苫小牧港の地理的優位性を生かした北極海航路の誘致
4. 苫小牧港（東西港区）の一体的な整備推進

## V 観光振興施策の強化

近年、インバウンドによる観光客の増加は、飛躍的な伸びを見せており、観光資源の宝庫でもある北海道は、注目を浴びる地域であります。観光による雇用増大、地域活性化など経済波及効果は大きなものがあり、観光振興策を講ずることが今後ますます重要な課題となります。

苫小牧市においても冷涼な気候風土、港、食、スポーツなど様々な特性や素材を生かした観光振興策を強化し、地域経済を活性化するため以下の事項を要望致します。

1. 港を舞台とした観光・交流の促進
2. 地域特性を生かした観光ルート形成とPR等情報発信の強化
3. 食・スポーツ等による交流人口増加の促進



## I 地域企業活動の活性化並びに中小企業対策の推進

1. 低廉かつ安定的な電力供給確保のため泊発電所の安全性を確保した上での早期再稼働の実現
  - (1) 安全性を確保した上での泊発電所の早期再稼働
  - (2) 電力の大規模消費地（工業基地等）に対する助成措置（特区を含む）の検討
2. 企業活動の基盤をなす労働力の慢性的な人手不足に対する人材育成・確保等の雇用対策推進
  - (1) 人材育成事業の推進
    - 1) インターンシップ・体験就労・人材育成セミナーの開催等への支援
    - 2) 苫小牧地域職業訓練センターの実習設備整備への支援
  - (2) 労働環境整備や待遇改善等の雇用確保対策への支援
  - (3) 高齢者や女性労働者活用に対する支援
  - (4) 仕事と子育ての両立に適した保育環境の構築
  - (5) 若年者雇用に関する支援〔採用・定着〕
  - (6) UI ターン事業（集団面接会・UI ターン採用窓口の開設）の推進
  - (7) 新規高卒者（予定者）向け合同企業説明会の開催（新規）
3. エネルギー効率の高さや安全性・環境への負荷低減に貢献する次世代エネルギーである水素エネルギーの利活用の促進
4. 地域の景気刺激策の推進
  - (1) 公共事業予算枠確保と早期発注並びに発注・施工時期の平準化
  - (2) 地元企業への優先発注
  - (3) 公共事業の経済状況に即した発注金額の設定と入札制度の改善
  - (4) 指定管理者に対する地場活用の推進
5. 地元中小企業の安定経営を支える諸事業の推進
  - (1) ものづくり人材育成事業への協力・支援
  - (2) 道立苫小牧高等技術専門学院の機能充実
  - (3) 職業訓練法人苫小牧地方職業能力開発協会への協力支援
  - (4) 中小企業関連条例に則した事業の推進
    - 1) 「苫小牧市中小企業振興条例」
    - 2) 「苫小牧市商店街の活性化に関する条例」
  - (5) 中小企業金融対策
    - 1) 日本政策金融公庫苫小牧出張所の支店昇格
    - 2) 苫小牧市融資制度の機能拡充（事業承継対応、雇用対策、空き店舗活用等）
  - (6) 苫小牧中小企業相談所に対する市補助金の安定確保
  - (7) 創業支援体制の継続及び強化
  - (8) 苫小牧市各種補助及び支援制度の情報発信の一元化（新規）
6. 持続可能な地域社会形成の推進
  - (1) 婚活事業における連携並びに協力支援
  - (2) 苫小牧駒澤大学に対する運営支援
  - (3) 人口減少対策としての安心できる子育て支援対策の充実
    - 1) 労働形態多様化に則した保育環境の構築並びに支援

## Ⅱ まちづくり並びに都市機能強化の推進

### 1. 苫小牧の顔であるJR苫小牧駅南口周辺地域の早期再整備の推進

#### (1) 駅前周辺再整備の推進

- 1) 旧サンプラザビルを含めた苫小牧の玄関口にふさわしい中心商業地の整備（新規）
- 2) まちなか居住促進のための生活環境整備の推進
- 3) バスターミナル機能を含む駅前広場再整備計画の早期策定

### 2. まちづくりにおける東西バランスのとれた有効的な諸施策の推進

- (1) 人口減少社会に対応した生活圏形成の推進（新規）
- (2) 地域商業地区の整備促進（新規）
- (3) 中心市街地並びに市内商業地区の空き地・空き家の有効活用の推進
- (4) 店舗改装費補助金の拡充（新規）
- (5) 利用企業が集積する鉄北東地区等への各種証明取扱所の設置（新規）

### 3. 苫小牧中央インターチェンジのフル規格での実現と緑跨線橋の早期整備

- (1) 苫小牧中央インターチェンジのフル規格での早期着工
- (2) 緑跨線橋架け替え工事期間内の迂回道路の対応強化（新規）

### 4. 市民生活の安全と経済活動の利便性向上に向けた道路整備等の推進

- (1) 美沢錦岡通の早期整備
- (2) 臨海東通の早期整備
- (3) 市道柏原開拓1号線の道路整備
- (4) 市道東部1条通の道道上厚真苫小牧線への接続
- (5) 苫小牧登別通（仮称）の整備
- (6) 国道36号線（錦岡～白老間）の拡幅の推進
- (7) 国道36号線と臨海北通の接続道路新設〔中野跨線橋～港跨線橋の約4.2Km間〕
- (8) 工業団地内の交通標識設置の推進（新規）
- (9) 地籍調査の早期事業化
- (10) 自然災害に対する防災対策の強化とインフラ整備
  - 1) 公的津波避難施設の設置
  - 2) 企業向け災害情報提供の強化
  - 3) 集中豪雨による冠水対策等防災対策の強化
    - ①冠水対策工事の強化（新規）
    - ②道路冠水危険個所マップの作成（新規）
    - ③冠水防災情報の提供（新規）
- (11) JR千歳～苫小牧間の快速便を含めた増便の実現
- (12) JR日高線災害問題の早期解決並びに持続可能な公共交通機関の整備促進
- (13) 南北交通アクセス向上のためのJR線の市街高架化の推進
- (14) 市内公共交通機関の系統を含めた交通システムの見直し
- (15) 繁華街への防犯カメラの設置（新規）

### 5. 地域の持続的発展と活性化のための近隣都市との地域連携の推進

### Ⅲ 地域振興施策の推進

#### 1. 経済活性化並びに観光振興につながる苫小牧版統合型リゾート（IR）構想の推進

- (1) 苫小牧市における統合型リゾート構想の策定
- (2) 苫小牧統合型リゾート推進協議会への協力（新規）
- (3) 統合型リゾートに対する市民理解の促進
- (4) 北海道と連携した誘致活動の推進

#### 2. 新千歳空港の国際拠点空港化を促進するための整備促進並びに機能強化

- (1) 新千歳空港の機能強化
  - 1) 発着枠拡大に対応した受入体制の強化並びに利便性の向上（CIQ体制、交通アクセス等）
  - 2) 滑走路延長の早期実現
  - 3) 国際線新航路の誘致
- (2) 航路直下地域への防音対策の促進及び地域振興策の推進
- (3) 空港内駐車場の管理運営にかかる地元公的機関の参入
- (4) 空港の拡張投資に係る地元企業の参入
- (5) 空港民間委託による新千歳空港の一層の活性化（新規）

#### 3. 日本有数の広大な開発用地と優れた交通アクセスを有する苫小牧東部地域の事業開発の推進

- (1) 苫小牧東部地域の特性を活かした多彩な産業の誘致並びにプロジェクト誘致への支援（自動車関連産業・食関連産業・物流関連産業・エネルギー関連産業等）
- (2) 苫小牧東部地域を支えるインフラの整備（維持・更新を含む）への支援
- (3) 苫小牧東部食糧貯蔵流通基地構想実現への支援

#### 4. 地場産業の振興、新たな産業創出につながる企業誘致の推進

- (1) 企業立地振興条例に基づく優遇措置拡大
- (2) 進出企業に対するフォローアップの強化

#### 5. 我が国のエネルギーミックス施策に沿った新エネルギー産業拠点形成の推進

#### 6. 北海道開発にかかる枠組みの堅持

## IV 苫小牧港の整備促進と機能強化の推進

### 1. 国際コンテナターミナル周辺を含めた基盤整備及び施設整備

- (1) 東港区の機能伸展のためのインフラ整備
- (2) 函館税関コンテナ検査施設（X線検査場）の東港区での早期設置
- (3) コンテナヤードの拡張と競争力ある料金設定への支援
- (4) 輸出貨物の増加を図るための施設整備
- (5) 東港区集約に伴う物流事業者の関連施設移転等に対する支援
- (6) 公設コンテナシャーシー駐車場の設置
- (7) 国際コンテナターミナル周辺地域の道路整備

### 2. 苫小牧港西港区の老朽化対策の推進

- (1) 新バース整備の推進
- (2) 西港区のうねり対策の早急な対応
- (3) 埠頭の有効活用と港湾機能強化

### 3. 苫小牧港の地理的優位性を生かした北極海航路の誘致

### 4. 苫小牧港（東西港区）の一体的な整備推進

- (1) 市道東部南通線の路肩を含めた道路整備
- (2) 勇払橋の重量規制の解除に向けた早期改修
- (3) 消防及び防災機能を装備した大型巡視艇の配備

## V 観光振興施策の強化

### 1. 港を舞台とした観光・交流の促進

- (1) 港周辺の商業施設の充実
- (2) 外国船を含めたクルーズ客船の誘致並びに寄港への支援
- (3) 「みなとオアシス苫小牧」事業への支援
- (4) キラキラ公園を活用したイベントの推進

### 2. 地域特性を生かした観光ルート形成とPR等情報発信の強化

- (1) とまこまい産業観光の促進
- (2) 滞在型モデルの創出
- (3) 自然観光体験型モデルの創出
- (4) 北海道新幹線開業に伴う北海道新幹線 nittan 地域戦略会議の活動推進
- (5) 多言語案内標識等、訪日外国人観光客増加に対応した諸整備の推進（新規）
- (6) 苫小牧の気候特性を生かした観光メニューによる来苫客誘致（新規）

### 3. 食・スポーツ等による交流人口増加の促進

- (1) 地産地消の推進にかかる事業への支援
  - 1) 東胆振地産地食フェア・イン・とまこまい事業への助成
  - 2) 地産地消情報発信の推進強化
  - 3) 新・ご当地グルメ事業への支援
- (2) 全国・全道大会並びにスポーツイベント、合宿等の誘致推進
  - 1) 緑ヶ丘公園陸上競技場を活用した大会等の誘致
  - 2) とましんスタジアム（緑ヶ丘球場）を活用したスポーツイベントの誘致
  - 3) 2020年夏季オリンピック・パラリンピック等の事前合宿誘致活動の推進
  - 4) 日本女性会議開催にかかるバリアフリー等施設の充実対応（新規）
- (3) スポーツ都市苫小牧としての施設の充実
  - 1) 苫小牧市緑ヶ丘総合運動公園並びに周辺環境の整備
    - ① クロスカントリーコース早期設置
  - 2) 国際基準に対応した施設整備の推進
- (4) 多彩なイベントの開催に対応可能な若草中央公園の整備
- (5) ふるさと納税のPR強化と地元特産品の活用の推進